



本日はよくお参り下さいました

もう間もなく梅雨入りを迎えようとしていますが皆さまいかがお過ごしで

すか。5月14日には、すみれ会の皆さんが境内清掃をして下さいました。



この場をお借りして御礼

申し上げます。いつもありがとうございます。5月19日には、五月の小祭を氏子会役員参列のもと行い、国家の安泰と、地域の繁栄と、崇敬者の皆さまのご健勝をお祈り致しました。さて、最近は何かと「平成最後の」と言われるようになってきました。来年の5月1日には新しい元号になるのですから、これからは毎月が平成最後の月となるわけです。御朱印の日付を書いている、あと何回平成という字を書くのだろうと、ふと思うことがあります。「歲月人を待たず」といいますが一日一日を大切に過ごしたいものですね。権禰宜道子

6月

1日・15日 月次祭 皇室の弥栄と国家安泰、
(つきなみさい) 氏子崇敬者並に社会の幸福と
平和を祈ります。

6日 芒種(ぼうしゅ)芒種とは、稲や麦など芒(のぎ…
稲・麦などの実の殻にある針状の毛)のある穀物、すなわち稲
を植え付ける季節を意味しています。

11日 入梅(にゅうばい) 梅雨の季節に入る最初の日。

21日 夏至(げし) 夏至は夏季の真ん中に当たり、梅雨
の真っ盛りで、しとしと長雨が続きます。

30日 夏越しの祓…豆知識をご参照下さい。

水無月のお菓子の話…六月に入ると「水無月」というお菓子を
見かけるようになります。「水無月」は、氷室の氷をかたど
ったもので葛(くず)や外郎(ういろう)で出来た三角
形の生地の上に邪気を祓うとされる
小豆が載せられています。小豆は氷
室から切り出された氷についた砂粒
を表しています。冷房のない時代、
貴族たちは冬の間に出来た氷を夏ま
で貯蔵するための氷室という穴蔵か
ら運び出し、神様に捧げたのです。



お菓子の「水無月」

天神さまの豆知識

夏越しの祓

全国の神社では毎年六月三十日
に夏越しの祓が行われます。

夏越しの祓は、大祓のことで、
大祓は、半年に一度、知らず知ら
ずのうち、ほこりのように積も
った罪けがれを祓い除ける神事
のことです。大祓の歴史は古く、日
本書紀によると、天武天皇の御代、
西暦でいうと六七六年には
「大解除」として執り行われて
おほはらえ

いきました。当初は国家の重要な
さいし
祭祀の前や疫病の流行など凶事
のあとに行われていました。その
後、大宝律令の制定後、毎年六月
と十二月の晦日みそかに行うことが定
められました。応仁の乱以降は、
国家神事ではなくなりますが、疫
病や災厄を避ける神事として民間
に根強く浸透し、現代へと伝えら
れています。参考文献『神道としま
り事典』茂木貞純監修 P H P 研究所発行

今月の言葉

天地は万古有るも、

此の身は

再びは得られず。

人生は

只百年なるのみ、

此の日

最も過し易し。

菜根譚より

天地は永遠であるが、人生は二
度と戻らない。人の命はせいぜ
い百年、あつという間に過ぎ去
ってしまう。幸いこの世に生ま
れたからには、楽しく生きたい
と願うばかりではなく、無駄に
過ごすことへの恐れを持たな
ければならない。

参考文献『人生を豊かにする「菜根譚」
のことば』守屋洋著 (株) P H P 研究所
発行 『こども菜根譚』齊藤孝監修
(株) 日本図書センター発行